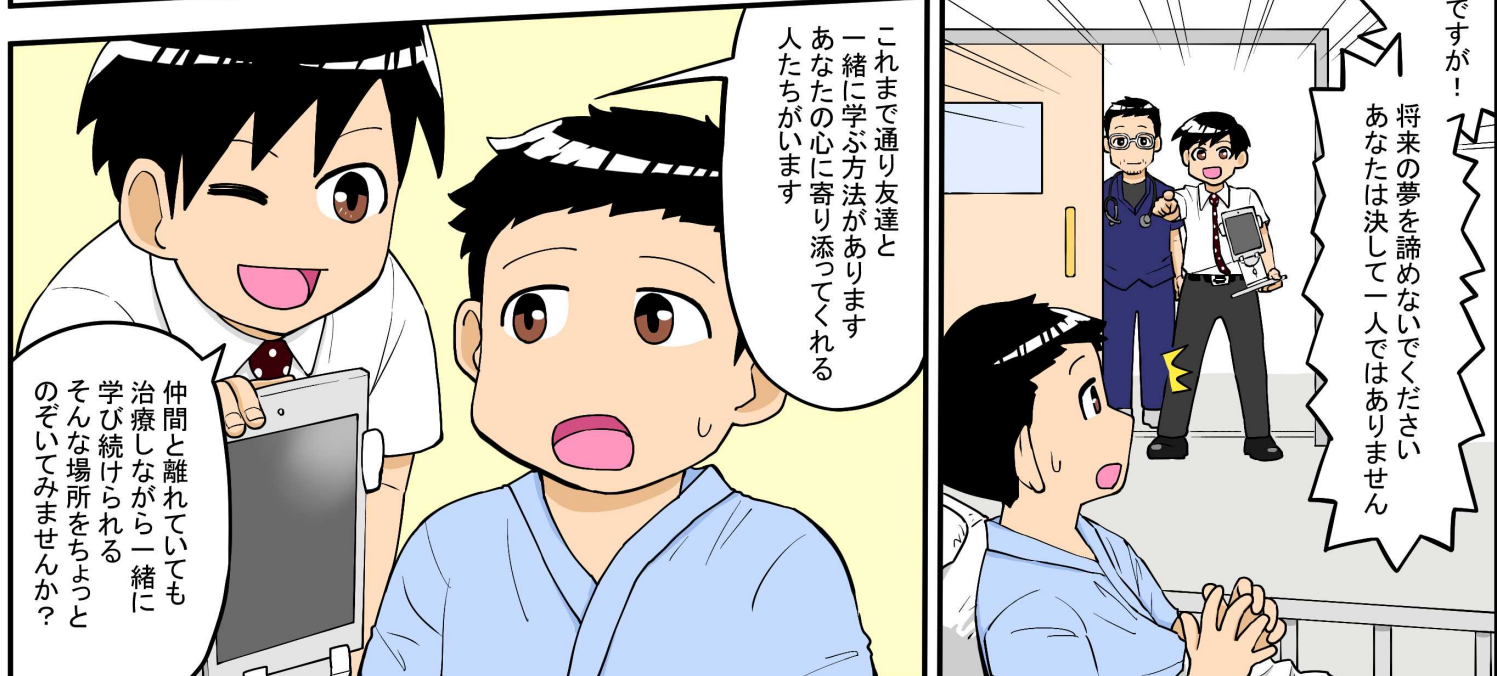
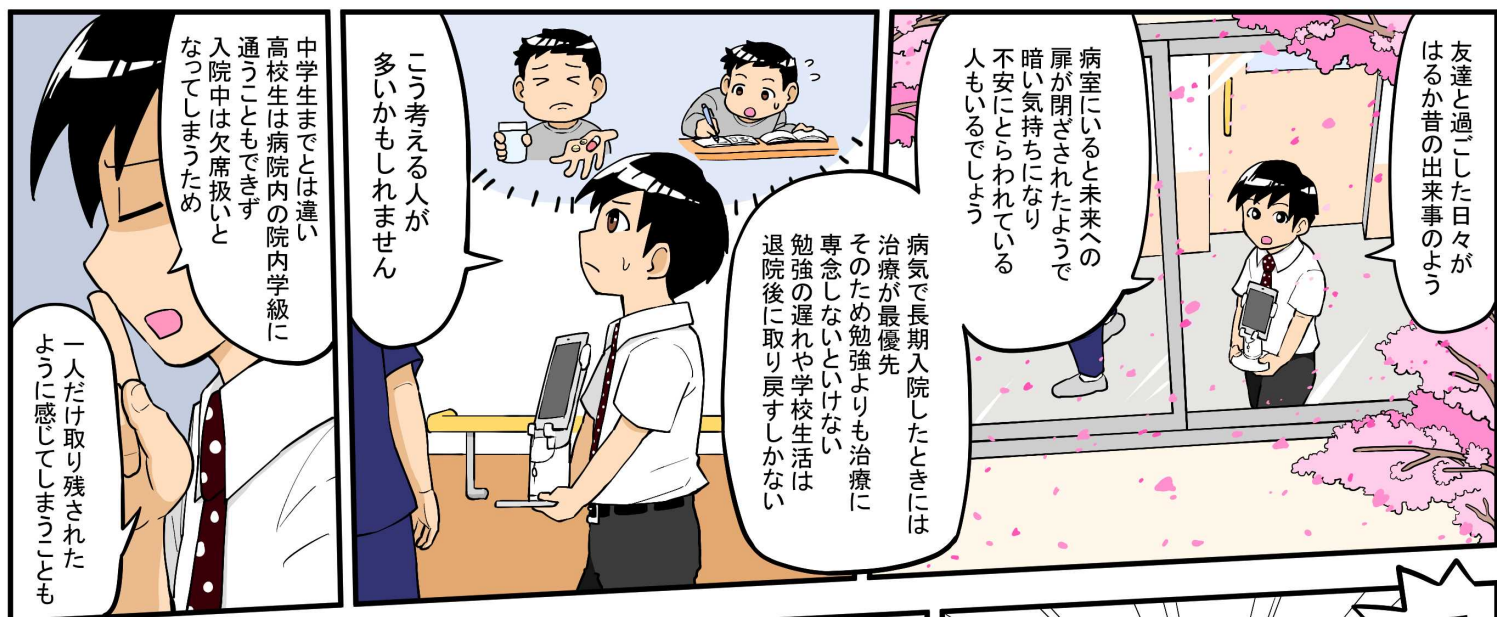
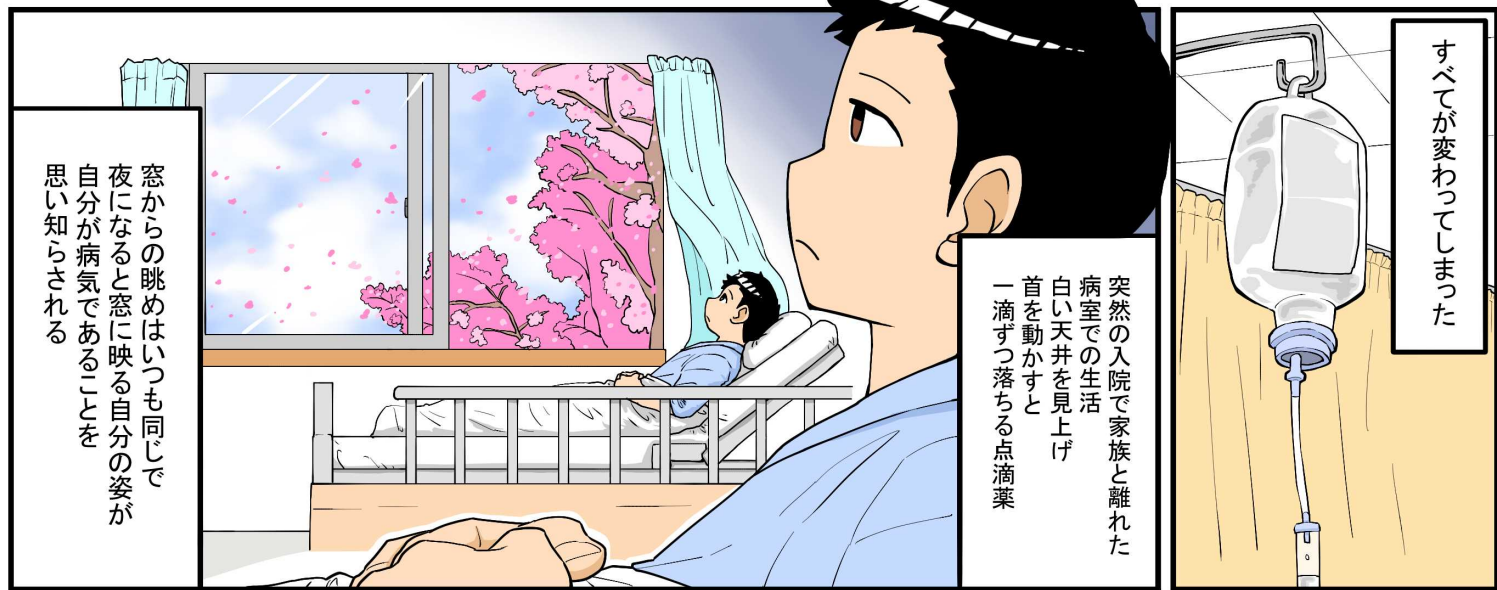


# 入院中も「友達とつながって一緒に進級・卒業したい」という思いを大切に



情報通信機器を用いた「遠隔教育」

病室にタブレット

教室に  
テレプレゼンスロボット

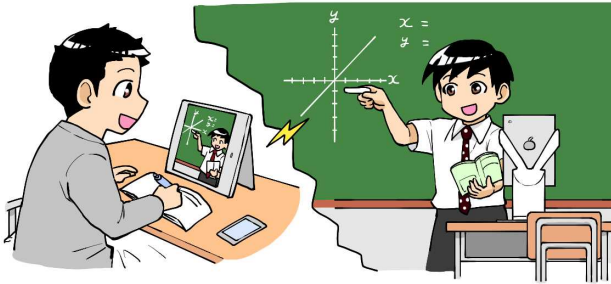
これにより  
病室が教室に変わり  
入院中も学校に  
いるかのよう  
に授業を受けられ  
友達と一緒に進級・卒業  
することができます

インターネットで学校と病院をつなぎ  
授業に参加

テレプレゼンス  
ロボットって  
すごいんだな  
もつと詳しく  
教えて!

もちろん!  
では活用方法を  
見ていきましょう

自分でカメラを操作して  
その場の空気を感じながら  
授業に参加できます



①リアルな感覚で  
授業に参加

おいそ  
同時双方向型遠隔教育  
テレプレゼンスロボットの活用

90°可動

②ロボットを  
移動させて  
さまざまな  
活動を体験

教室外での活動や  
行事に加わることが  
できます



③同じ空間に  
いるかのよう  
に学校生活を  
楽しめる

友達や先生と  
リアルタイムで  
コミュニケーションを  
とることができ  
休み時間も一緒に  
過ごすことが  
できます



病室から  
携帯で操作

300°  
回転

大丈夫  
自分のタイミング  
に合わせて  
遠隔教育を受ける  
方法もあるんです

それでも体調や  
治療の都合で  
授業に参加が  
できない時は  
どうしたら?

学校への欠席連絡  
授業プリントの受取と提出  
学校からの配付物の確認も  
情報通信機器を活用  
することで可能です

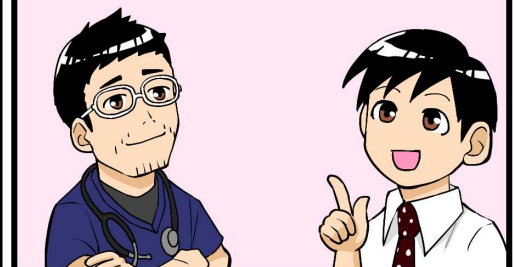
遠隔教育に必要な  
情報通信機器は  
学校や教育委員会が  
貸し出しますので  
費用は一切かかりません

Q 遠隔教育を受けたいのですが  
条件はありますか

病気やけがに伴う入院のために  
30日以上欠席が見込まれる場合

本人が遠隔教育を希望し  
保護者が了解していること

継続した学習に耐えられる状態  
であると病院や主治医が判断していること



自分の体調や治療を優先し  
いつでも受けられる  
「オンデマンド型授業」

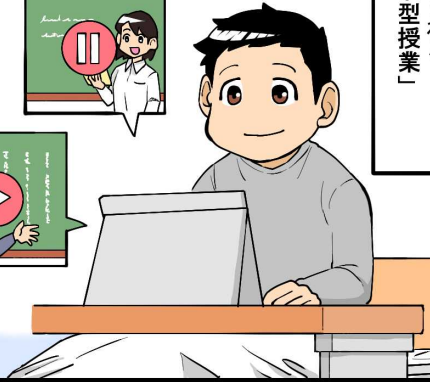
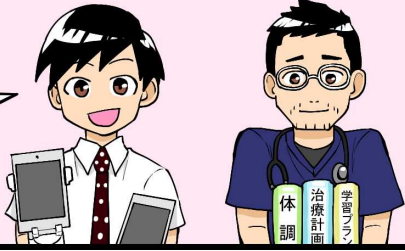
収録された授業を  
自分のタイミングで  
視聴することができます

授業の途中で  
わからないことが  
出てきても安心  
メールなどで後から先生に  
質問することも可能です

Q 入院中も普段と同じペースで  
授業を受けられますか

同時双方向型の授業を原則としつつ  
病状や治療の状況に応じて  
本人と学校・病院が相談して  
一緒に学習プランを考えます  
遠隔教育での出席や単位認定も可能です

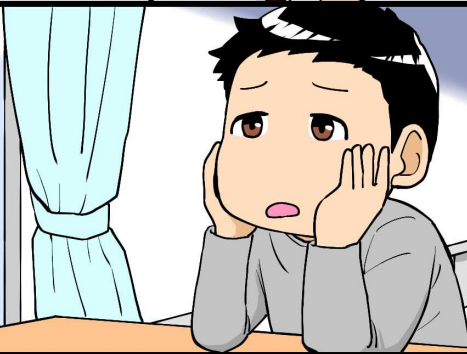
ただし各教科・科目で  
一定時間の対面授業を  
受ける必要があります



小さな不安が重なり  
いつもの学校生活を諦めた  
人もいるかもしれませんが  
でも安心してください

あなたの希望を  
叶えるための  
最適なサポート体制  
が整っています

例えば  
高校ではこんな  
工夫をしています



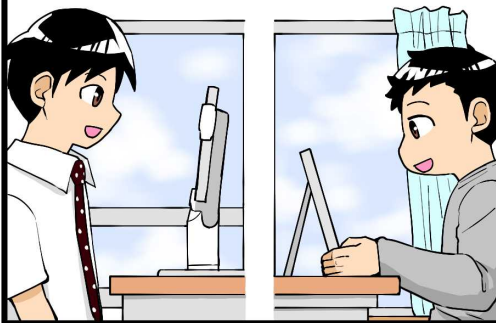
病室が図書館に

県図書館の  
電子書籍が読めます  
本を読んで視野を広げたり  
専門書でより深く調べたり  
することができます



病室が相談室に

自分の将来や  
進路について悩んだ時も  
学校にいる時と同じように  
対面で相談をする  
ことができます  
必要に応じて保護者や  
病院関係者を交えて  
話し合うことも可能です



病室が通級の指導の場

学校で通級による指導  
を受講している場合は  
継続して受講すること  
ができます

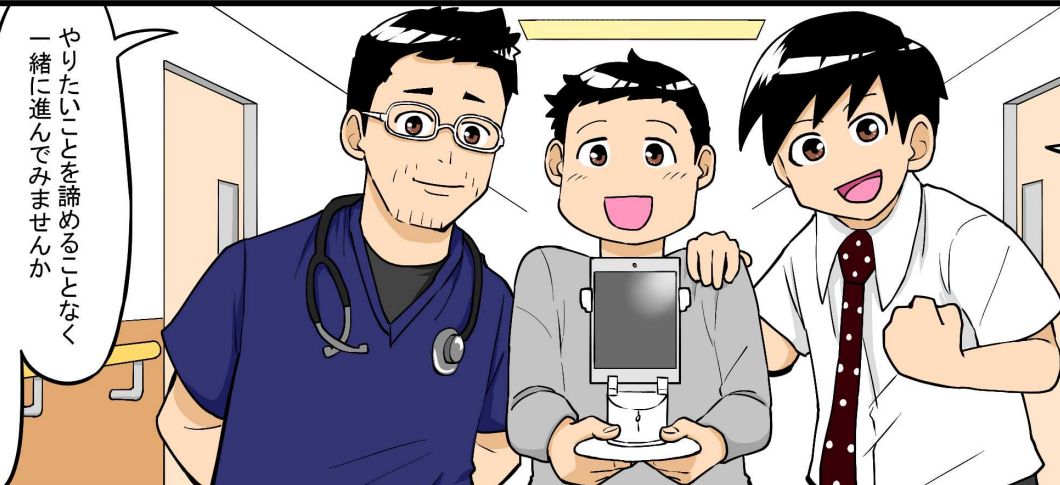


入院中も友達とつながって  
一緒に進級・卒業

学校・家庭・病院が一丸となり  
いつもの授業が受けられる  
環境を整えます

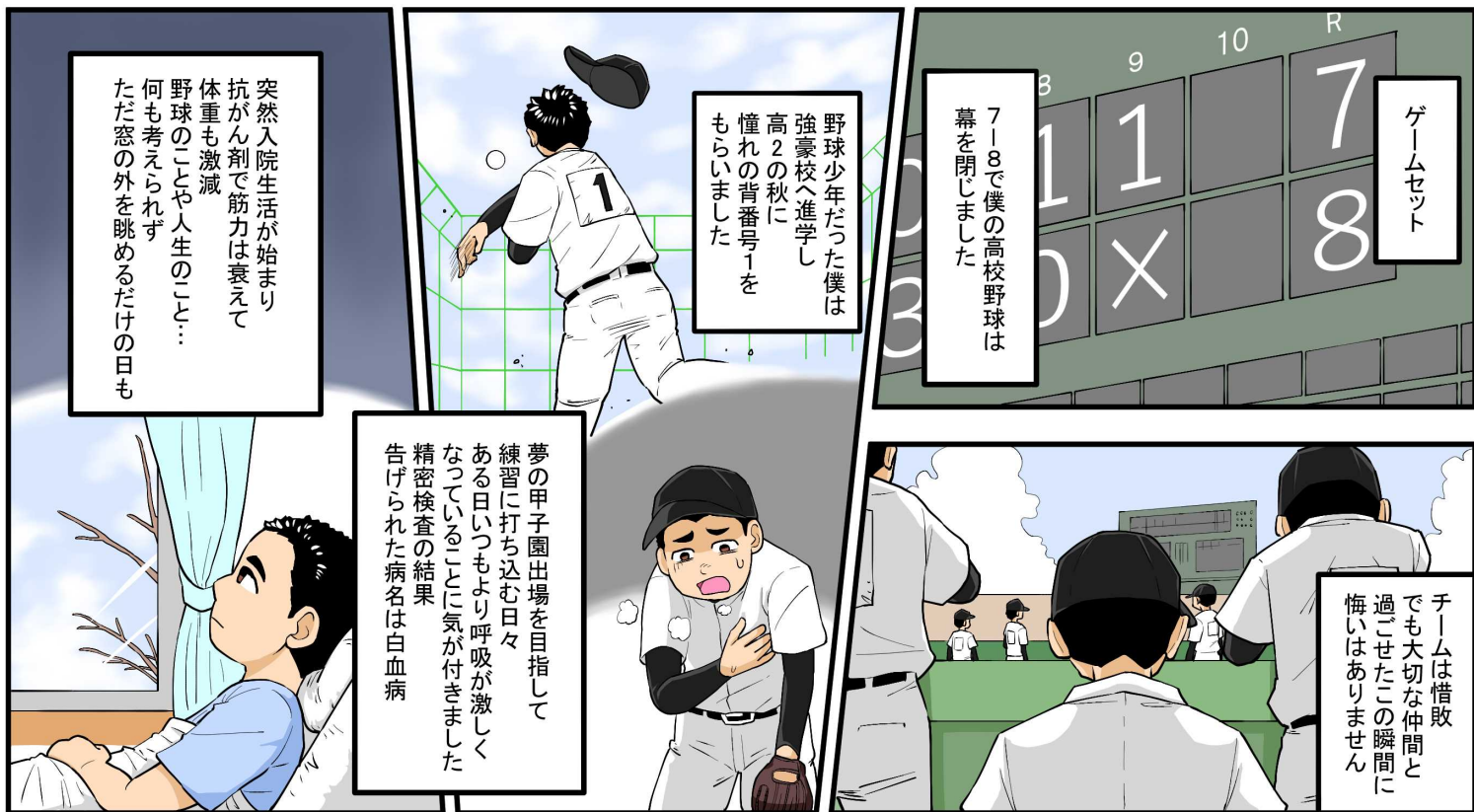
やりたいことを諦めることなく  
一緒に進んでみませんか

あなたの声を待っています



# 大切な仲間たちと過ごした最後の夏

## 新たな道を歩む先輩からのメッセージ



ゲームセット

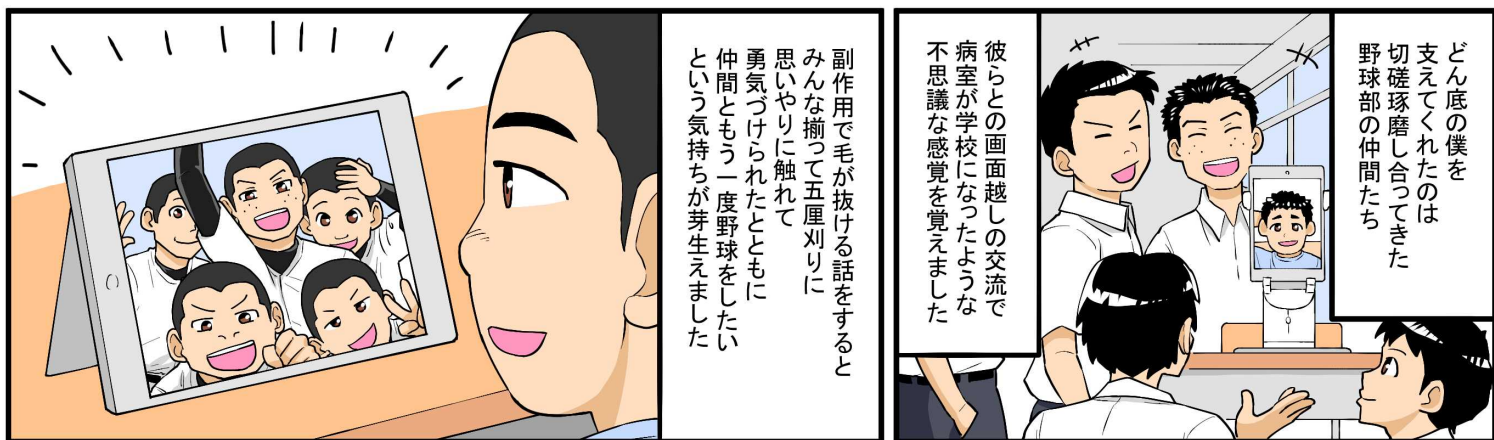
7-8で僕の高校野球は幕を閉じました

野球少年だった僕は強豪校へ進学し高2の秋に憧れの背番号1をもらいました

突然入院生活が始まり抗がん剤で筋力は衰えて体重も激減  
野球のことや人生のこと…何も考えられずただ窓の外を眺めるだけの日も

チームは惜敗でも大切な仲間と過ごせたこの瞬間に悔いはありません

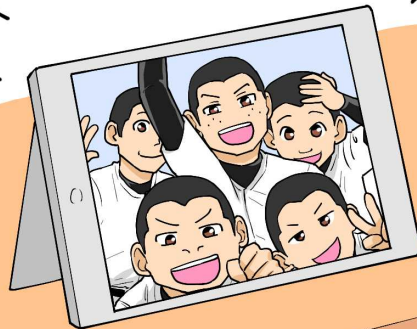
夢の甲子園出場を目指して練習に打ち込む日々ある日いつもより呼吸が激しくなっていることに気が付きました精密検査の結果  
告げられた病名は白血病



どん底の僕を支えてくれたのは切磋琢磨し合ってきた野球部の仲間たち

彼らとの画面越しの交流で病室が学校になったような不思議な感覚を覚えました

副作用で毛が抜ける話をするとみんな揃って五厘刈りに思いやりに触れて勇気づけられたとともに仲間ともう一度野球をしたいという気持ちが芽生えました



高3の春に退院し最後の試合では記録員としてベンチから仲間を応援できました

最後まで選手として僕と向き合える役割を与えてくれた監督に心から感謝しています

現在は救急救命士になりたいという新たな夢を持ち大学で勉強に励んでいます

僕と同じように病氣と闘う全ての皆さんへこれから不安が大きくなることもあるかもしれませんがでもネガティブにならず絶対に大丈夫だと強く思い続ける気持ち大切にしてください